

気象庁が広く参加者を募集中！災害弱者対策としても知っておきたい防災講演会

気象庁主催「特別警報、命を守るために知って欲しい」

気象庁が今月 30 日から、これまで行っていた大雨、地震、津波、高波などの警報に加えて、最大限の警戒を呼びかける「特別警報」の運用を開始します。

気象庁 防災講演会

特別警報

命を守るために知って欲しい

8月30日から運用を開始する「特別警報」。『特別警報』が発表されるような自然災害による危険が最も高いときに、どのような行動をとればよいか、「特別警報」が発表されることを事前に防災意識を持って知っておくことが大切です。

日時 平成30年8月28日(水) (開場13:00) 13:00~15:00

会場 気象庁講堂 (〒100-8501 東京都千代田区千代田1-2-4)

主催 気象庁 (後援 内閣府(防災)、総務省消防庁、NPO法人 気象キャスターネットワーク)

プログラム

- 13:00 開演 13:05 主催者挨拶
- 13:40 特別警報について
五十嵐 洋輔 気象庁予報課 予報官
- 14:10 特別警報と、気象弱者への備え
天達 武史 気象キャスター-気象キャスター
- 14:50 地域をとり、防災気象情報を活用する
牛山 義行 静岡大学防災総合センター 副センター長

お申し込み方法
気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)、
またはFAX(郵送)に書くことができます。
申込締切 8月23日(月)

お問い合わせ先 気象庁広報課 TEL:03-3213-9081(内線217) FAX:03-3213-7280

運用にあたって気象庁は、“命を守るために知って欲しい”をテーマに広く一般に向けた防災講演会を開催。現在、参加者を募集しています。

ゲストを招いて「特別警報」について詳しく解説

今回の防災講演会では、自然災害・防災科学の専門家や気象キャスター・天達 武史さんをゲストに、「特別警報」についての詳しい解説の他、「特別警報」が発表されるような危険な状況が差し迫った場合、私たちはどのような行動をとればよいのかを学びます。

この他にも、「特別警報」が発表される前の防災気象情報の活用法などに関するアドバイスも予定されており、いざという時の備えとして、知っておきたい情報が満載です。

防災講演会「特別警報、命を守るために知って欲しい」

開催日：2013年8月28日（水）

※受付開場 13 時、開演 13 時半、終演予定 15 時半

場 所：気象庁 講堂（東京都千代田区大手町 1-3-4）

入場料：無料

定 員：200 名（事前予約制）

申し込み方法などについては下部リンクへ

「防災講演会「特別警報、命を守るために知って欲しい」の参加者を募集します」

気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/kouenkai/2013/>

編集部 つつみ さえこ